



大 報 おおおじめ

昭和45年 1月25日 No. 216

編集と 鹿児島県肝属郡大根占町役場
発行 企画室 企画係
(電話 大根占局 2-0511~0515)
印刷 逆瀬川印刷所 (電話 2-0140)

町の 昭和46年1月1日 現在推計人口
人口 男 5,059 人 計 11,079人
女 6,020 人
前月より 1人 減



とじて保存しておきましょう

新春を迎えて

町長 坂元 左武郎

新年おめでとうございます。
七〇年代の幕あけと、内外に喧伝された昨年は、わが大根占町にとりましても一つの転機の年であったと思います。

日本の経済は、ここ数年、めざましい成長と繁栄を誇ってきましたがその高度成長もようやく沈静化の方向に向い、反面、その成長のひずみとして表われた公害問題がにわかにクローズアップされるようになりましした。また、農政の面では米の生産整調、減反という非常措置がとられ四十六年度も引き続き、この政策が実施されることになっております。本町では、四十四年来策定中の総合振興計画が各界のご協力を得て、成案することができ、また、過疎地域対策緊急措置法の制定施行にともない、本町もその適用町村として指定され、過疎地域振興計画を作成し、いづれも昨年九月の議会で協賛していただきました。

この二つの計画は、基本的には同じようなもので、過疎化の進む情勢の中で、本町のおかれた立地条件から考え、また、県の計画の中でも、食糧供給基地として位置づけられている関係から、農林漁業の振興を第一義としてこのため道路網及び生産基盤の整備をはかり、才一次産業の近代化、経済の安定を期して参ることとしております。

また、過疎化対策のおもなものととして中学校の統合がありますが、現在、審議会で、いろいろな角度から検討していただいております、町民みなさんのご理解を願い、その実現に努力して参りたいと存じます。

前述のように、国内経済の動向や国の農政の方針も大きくゆれ動いていますが、ともすれば激しい過疎化の流れの中で悲観的になりがちであります、町内の農家の中にもたくましい若い息吹の胎動があることを私は信じております。営々として施設円芸、畜産、みかん、養蚕たばこなどの基幹作目の振興に努力され、また、水産業界でも施設の近代化や新しい技術の導入への動きが始めております。

私たちの大根占町には公害になやむ大都市にないところの豊かな自然があります。四十六年度は、農業振興地域に指定される予定になっていますが、関係機関との連携を強め、さらに産業経済の振興に町をあげて努力して参りたいと存じます。

新しく迎えた四十六年が、町にとっても、またみなさんのご家庭にとっても、発展への足がかりになる年であることを期待し、事故のない住みよい、明るい郷土の建設に邁進しようではありませんか。

年頭に当つて

議長 川辺 盛康



新年、あけまして

おめでとうございます

昨年は、七十年代の幕開けの年ということで、何かしら期待のもてそうな気する年でございましたが、大きな災害こそございませんでしたものの、物価の高騰、過疎現象の激化などをはじめ、農業面におきましても、米の生産調整の実施や葉タバコの収納成績も思わしくなく、決して恵まれた年ではなかったと思ひます。

町政の面におきましては、昨年実施されました国勢調査の結果、本町の人口は、昭和四十年から四十五年までの五年間に、約一千人の減少をみております。こうしたことは、単に本町だけの問題でないことは皆さん既に承知の通りでございますが、これが

明るい家庭づくりは

主婦の手で

大根占町婦人会長 前田 花子



あけまして

おめでとうございます

私、町婦人会長を務めさせていただきまして、三ヶ年の月日が流れましたが、みな

どこまで進行するか、現段階では計り知れないのが実情でございます。

過疎化の防止は、現段階では一町村の力だけでは、如何ともなし難いと存じますが、過疎の進行する中で行政のあり方は、むずかしいことではあります。真剣に取り組みねばならないと思ひます。

町といたしまして、道路交通網の整備、中学校の統合問題など、徐々にではあります。その対策が具体化されるようでありまして、更に工場誘致の問題等も真剣に検討されるであろうと考へる次第であります。

迎えました今年も、多難な年であろうことは予測に難くありませんが、皆さん方と共に町政発展のため尽力して参る所存であります。

一六九人が おとなの仲間入り

成人式

ことしの成人式は一月五日大根占小学校体育館で開かれました。

この日の成人式は、県外で働いている人も出席できるようにと、五日にくりあげ、また四月一日までの早生まれの人も含めておこない、例年になく一五一一人という多数の出席者で盛大におこなわれました。

その内容は、「明るい家庭づくりは私達の手で」というスローガンのもとに、家庭で親子の話し合いの場をもちましよう。

男八八人、女八一人、合計一六九人が新しくおとなの仲間入りをし、関係者の祝福を受けました。

坂元町長から「社会に貢献できるりっぱな社会人になってほしい」という激励のことばのあと、笹原の馬込幸一君の「今日から未来への限りない発展と可能性に向って若い情熱を社会のために捧げます」という誓いのことばや、成人になった感想の発表、記念品の贈呈がありました。

午後からは、大根占町が生んだ歌手、桜島昌朗（ビクター専属）のレコード発表、記念撮影、町内一周見学と記念植樹（慰霊塔境内、旗山神社、高尾神社、河ノ上神社の4ヶ所）をおこない式を終了しました。



←記念撮影

←記念植樹（慰霊塔境内）



広報のしおり

学期末

子どもたちにも正月気分がまだ残っているのでしょうか、三学期の教室の空気は落ちつかず、学習に身が入らないようです。

夜もおとなに混って夜ふかしのクセがぬけ切れず、朝寝坊という悪い習慣から早く立ち直らせ、進級・進学の緊張感をつけてやりましよう。

また新しく小学校へあがるお子さんのいるご家庭では、からだの故障は早目に手当てして、規則正しい生活を身につけさせましよう。

間もなく教育委員会からお宅へ学齢児童の身体検査の通知が届きます。

住

空気が乾燥している上に風の強い日は続きます。わが国の火災は年間を通じて十一月から急にふえ、この一月から二月そして三月をピークに五月までが火災シーズンといわれています。最近十一年の大火の記録によりますと、大半が東北・北陸・北海道を中心とする北日本が断然群を抜いています。しかし太平洋側でも、空気が乾燥しているし、風の強い日はザラです。出火すれば、必ず大火になります。条件はそろっています。くれぐれも火の元に用心していただきたいものです。

中央分団長に

福岡正男氏

消防団出初式

新春恒例の消防団出初式が一月六日、大根占小学校校庭で行なわれました。

団長以下四個分団総勢二百名の団員が規律整然として、

しかも、士気旺盛な姿をまのあたりに見て、災害に際し町民の生命、財産をまもる消防体制に心強さと、信頼感をさらに深くしました。

入・退団者、表彰者は次のとおりです。

入団者

中央分団 城之下俊郎、西田辰美

▽神川分団

▽池田分団

遠矢良男、白井四男、前迫宗熊、半ヶ石実男

▽宿利原分団

宿利原栄造、中野藤夫、下玉利重則

退団者

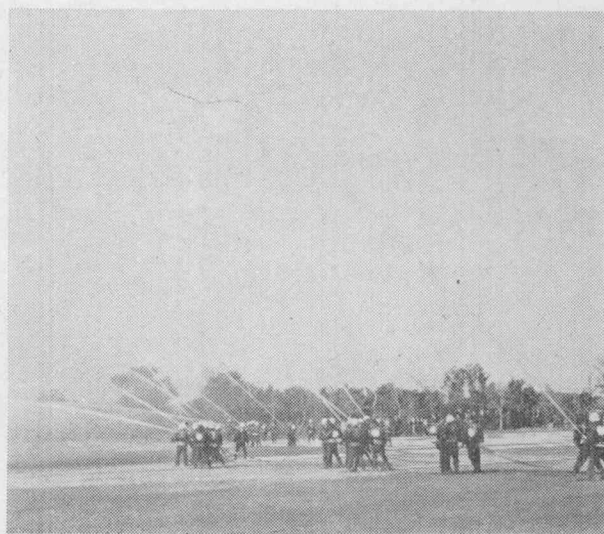
中央分団 城之下道男、下柳田好一郎

▽神川分団

福岡和夫

▽池田分団

木下登、遠矢茂、木下清美



(放水演習)

(通常点検……宿利原分団)



- 白井生男
宿利原分団 宿利原平、村田博治
- ▽宿利原分団
宿利原平、村田博治
- ▽三ヶ年精勤賞
宮下清資、中央分団落司栄一
- 大津 昇、神川分団赤石堅次
- 岩元定春、前迫良光、池田分団落河喜代治、宿利原分団厚ヶ瀬有
- 増田清武、飯隈親夫
- ◎一ヶ年精勤賞
中央分団 一五人
神川分団 一二人
池田 一〇人
宿利原 一四人
- ◎退団者感謝状贈呈
中央分団 城之下道男、垣内不二男
神川分団 赤石久男
池田分団 殿辰男、木下純夫、木下登、遠矢茂、木下清美
宿利原分団 宿利原平、白井生男
- ◎五ヶ年精勤賞
安水寿熊、池田分団永山薫、宿利原分団
- ◎一〇年勤続賞
菊谷誠也、中央分団大津 昇、神川分団満留満穂、神川分団押領司三夫、池田分団馬込 香
- ◎五ヶ年精勤賞
安水寿熊、池田分団永山薫、宿利原分団

お知らせ

鹿屋税務署から

◎還付を受けるための所得税確定申告書の早期提出について。

昭和四十五年分の所得税確定申告書の提出時期も近づいてまいりました。

納めすぎている税金の還付を受けるための所得税確定申告書は、一月一日以降いつでも提出することができるようになっております。しかし、二月下旬からは確定申告のための相談事務が多く、還付を受けるための申告書を提出されなくても、還付金がお手元に届くのがいくぶん遅れることとなります。

このため、還付を受けるための申告書を二月二十日ごろまでに提出された方については、特殊な場合をのぞいて二月中に還付いたしますので、早目に申告されますようお願いいたします。

◎納税証明書の交付請求について
登録更新、入札指名願いなどの書類作成のため、納税証明書の必要とされるかたが多くなる時期となりましたが、二月十六日から三月十五日までは所得税の確定申告期間のため、納税相談事務が多く、すぐには証明書の交付ができかねますので、納税証明書を必要とされるかたは、できるだけこの繁忙期をさけて早めに交付請求されますようお願いいたします。

◎申告と納税は、ぜひ通知の日に。
申告所得税の確定申告と納税は、三月十五日までとなっておりますが、申告期限の直前になりますと納税相談会場が混雑し、長時間の待ち合わせが必要となりますので、税務署から納税相談日の通知を受けたかたは、ぜひその通知の日に申告と納税をすませてください。

なお、確定申告書を提出されたかたは、別に事業税、住民税の申告書は提出しなくてもよいことになっております。

◎種痘
原校区は神川小学校で、大根占校区は保健所で、対象となるのは、昭和四十五年一月一日、同年六月三十一日までに生まれた乳幼児。ことし小学校に入学する幼児。

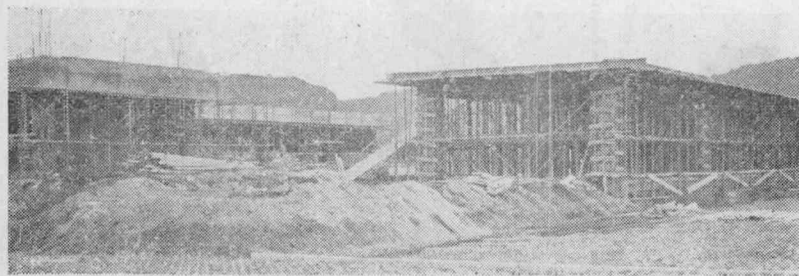
◎妊婦検診
昭和四十五年第二回目の妊婦検診と、種痘の接種が次のとおり行なわれます。

大根占校区 2月10日
神川 校区 2月4日
池田 校区 2月9日
宿利原校区 2月4日
注、時間は午後2時～3時まで、各小学校で、宿利

新築工事始まる

＝ 大根占土木事務所 ＝

大根占土木事務所の建築工事がはじまりました。
場所は国道沿いの木場水田(町葉タバコ取り扱い所)で、総工費三、二七〇万円、敷地面積二、八八九平方m、鉄筋コンクリート二階建延面積八六一平方mです。
完成は三月末の予定です。



〔大根占土木事務所〕

戸籍に関する情報は ホームページ上では 掲載していません



次のかたがたから、それぞれご寄附くださいました。厚くお礼申し上げます。

△ 町社会福祉協議会へ

▲ 香典返しにかえて

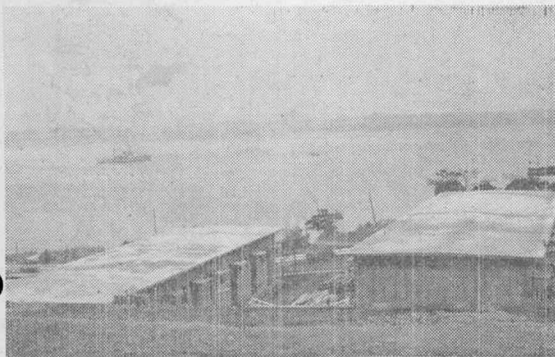
麓の故東岩吉さんのご遺族
東岩夫さんから 五千元

関神川上の故上鶴ツルさん
のご遺族上鶴次郎さんから 五千元

三千元

鶴宿利原の故宿利原義哉さん
のご遺族宿利原ヨシ子さんか
ら 五千元

神之浜二区の故大山ハツキ



塩屋坂上の見晴らしのよい高台に住宅が建築中です。

この住宅は公営住宅第2種簡易耐火構造平家だてで、2棟8戸、670万円の工事費で3月末に完成の予定です。

クさんのご遺族大山清美さん
から 一万元
段中野の故前迫甚左衛門さ
んのご遺族前迫広さんから 三千元

△ 歳末助け合い募金に

浜崎 吉人くん 八七五円

〃 博人くん 一四一五円

〃 明人くん 八五六円

〃 英代ちゃん一五〇九円

計 四六五五円

浜崎吉人くんら四人は、木

原の浜崎俊明さん（神川小学
校教諭）の子どもで、毎年こ

づかいを竹ッポ貯金にして、
貧しい人のためにすしでも

やくだてばと、毎年続けてい
る感心なお友だちです。

ボーイスカウト肝属第一団

五四七九円

△ 広報紙送付に対する謝

礼として

大根占町出身者で、現在、

大阪市内の美容院で働いてい
る四人の女性、前野サダ子

大園ミエ子、牧原トミエ、小

平とし子さんは、「毎月広報

を送っていただきありがとうございます。

郷里のできごと

を知ることができ、楽しみに

しています。ここに少しでは

ございますが、私達、四人の

感謝の気持ちとして、社会福祉

のために役立て下さい」と

いう手紙といっしょに現金二

千円が同封されていました。

△ 錦江園（老人ホーム）の

おとしりのかたがたへ

県共同募金会から

はだ着五四人分

吾平町の老人クラブのかた

こんにちは

保健所です

昭和44年5月からはじめら
れた「太陽の子運動」も各方
面で実を結び、強化されてい
ます。

昭和45年度の定期事業とし

ては、妊婦検診

が2月中旬まで

に実施される予

定です。

昭和42年度の

乳児死亡（出生

一〇〇〇に対し

て）は、全国平

均一五・〇、青

森二二・四が最

高で山梨一一・

六が最低です。

鹿児島県は一八・六です。

乳児死亡がこのように高いの

は、妊娠中の保健、栄養にも

とづく妊娠中毒症による胎児

の虚弱、保育の不全などがあ



ります。

妊娠中の検診の強化が乳児
死亡率の低下にもつながりま
す。妊婦さんに対する各種援
助を利用し、元気な赤ちゃん
を生みましょう。

前月号に記載しました妊婦
健康診査の制度、年二回の定

期妊婦検診、保

健所で行なう毎

週月曜日一時一

二時の母子クリ

ニックなどに積

極的に参加し、

健康状態、家庭

生活の指導をう

けましょう。

赤ちゃんはみ

んなの喜びです

家族全員の方の妊婦さんへ

の思いやりがほしいもので

す。